～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名　アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究』

研究機関名　東邦大学医療センター大森病院

研究責任者　糖尿病・代謝・内分泌センター　　職位・氏名　教授・弘世貴久

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院　糖尿病・代謝・内分泌センターでは、我が国における糖尿病患者の死因調査を定期的に実施し過去の成績と比較することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、我が国での病態の変化、平均寿命への影響、管理・治療法の進歩による効果などの多くの情報を得ることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、（東邦大学医療センター大森病院）倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2011年1月～2020年12月までに東邦大学医療センター大森病院において、死亡が確認された方

方　法：診療録（カルテ）から抽出したデータ（アンケート）を代表研究機関へ提供します。

【研究に用いられる試料・情報】

対象期間中に死亡した糖尿病患者さんの①性別、②死亡時年齢、③推定糖尿病発症年齢、④治療期間、⑤糖尿病の病型、⑥死因、⑦生前にみられた主な合併症、⑧治療内容、⑨死因の診断方法、⑩血糖コントロール状況の計 10 項目、当施設において対象期間中に死亡した非糖尿病患者の①性別、②死亡時年齢、③死因を調査項目として取り上げます。

【外部への試料・情報の提供】

アンケートによって提出された過去の診療録データを、亡くなられた方やご遺族様の個人情報が分からないように管理します。

【研究組織】

代表施設名：愛知医科大学　研究代表医師：中村二郎　役職：教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

【利益相反について】

本研究において一部関係者と一部企業との間には利益相反状態がありますが、本研究の計画及び実施は研究者の合議で行い、複数の研究員がお互いをチェックし合い客観性を担保することで本研究の実施もしくは成果に影響を及ぼす事がないよう、規範に従って適切に対処されています。研究の完成によって得られる経済的利益（企業からの寄付等，特許によるものを除く）はありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】　東邦大学医療センター大森病院　糖尿病・代謝・内分泌センター

職位・氏名　講師・宮城匡彦

電話　03-3762-4151　内線　6565